ZX120

荷台から真横に転落

品質記録

安全品質管理G記録-013(1)

事故事例水平展開依頼書

安全衛生委員長	安全衛生副委員長	安全品質課課長	安全品質主任	安全品質担当
洋田	富野	豊崎		小安

件名　ZX120-3　トラック荷台から真横に横転	日立建機ロジテック㈱	
	報告書No.	2018-02
	報告日	2018/3/26

1．発生日時　　2018年2月20日(火)　午前　9時00分　頃

2．発生場所　　中央国道線沿い営業所構内

3．事故状況

人的被害の有無：☐ 有　☑ 無　　ケガの有無　：無　作業の種類：　☑ 正規　☐ 臨時

雇用形態：　　経験年数：3ヶ月　年齢　：46才　物損の有無：　☑ 有　☐ 無

物損の程度：機体ミラー変形(他、確認中)
：サービスカーキャブ潰れ、TS160(タイヤローラ)側面接触

機体を積込み前に荷台のシートを外し、荷台に砂敷きを多めに行なった。
アウトリガーで車両を傾け前進で機体の積込みを開始し、アウトリガーを張りつつ車両をほぼ水平に戻し、機体の旋回を実施した。
旋回後、機体が荷台中心からズレていたため、荷台上で3度切り返しを行った。(トラックキャビンを向いて左側15cm程度)
切り返しをしたが元の位置に戻ってしまう為、機体が横滑りをしたと思い、バケットを地面に着けて横滑りを
押さえようとフロントを動かしたところ機体が荷台から真横に横転・落下した。

4．状況写真

セルフトラック（トラック荷台長さ:8m　歩み板長さ:2．1m　幅:31cm）／　傾斜角度　0　度

5．事故の原因

【行動面】

本体の位置調整の為、荷台上で切り返しを3回行った。

【環境面】

冬期間は荷台へのシート掛けや砂を多めに撒く等の滑り防止対策をおこなっていたが、
機体(鉄シュー)が着雪および着氷した状態で滑りやすかった。

【管理面】

当該ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰは、長年従事していた運転手が12月に退職し急遽、配属されたが重機運搬は未経験だった。
当該輸送会社の教育・指導も不十分だった。

6．事故後の処理

機体を引き起こし、サービス工場へ戻した。
サービスカー及びTS160(タイヤローラ)は工場内で修理依頼を行った。

7．備考(貴社内への注意喚起・水平展開、及び協力会社への連絡をお願いします。)

荷台上での切り替えし位置調整を禁止とし、位置調整する場合は荷台から地上へ降ろし再度積込みをお願いします。
降雪、積雪時での環境化で機体積込み、荷降ろし作業においては、スリップを想定して十分な対策を講じて
安全作業をお願いします。
機体操作時に不安がある状態での作業は避け、貴社管理者もしくはHKL配車担当まで連絡をお願いします。
今回の事故については、貴社お取引様輸送協力会社様へも水平展開の程宜しくお願いします。